

平成24年度 第4回姫路支部研修会 報告書



ものづくり体験館 見学会

日時 平成25年3月28日(木) 13.30～15.00

場所 兵庫県立ものづくり大学校 参加者 6名

研修内容 昨年10月に竣工した遠藤秀平氏(神戸大学教授)設計のものづくり体験館の見学会を開催しました。当日は、当校瀬川企画調整部長と横林主査より資料をいただき詳しく館内を説明をしていただき研修しました。



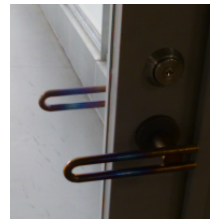
玄関庇は耐候性鋼板で作られている。鉄は自然にさびるものであるというコンセプト。自動ドアは、シースルーとなっている。



玄関ホール床は耐火煉瓦をスライスしたものを敷き詰めている。



多様な室内の仕上材、天井 配管むき出し 壁 淡路瓦 ■鉛メッキ鋼板 県産材 床 県産材



明珍火箸でつくられたドア取手 上はチタン製・下は鉄の焼付け



道具箱を積み重ねた家というイメージの外観



矢狭間・鉄砲狭間をイメージした窓



サッシ枠周りガラスは99%UVカットしている。



空気で膨らませているETFE幕。国内では2例目。



構造用合板の型枠で仕上げられた壁



手動の木製ルーバー(アライド)



耐候性鋼板でつくられたサイン



内観・ディテール



孟宗竹の型枠で作られた壁面。竹・土・藁で日本の建物はつくられているというコンセプト。



ムシロの型枠で作られた玄関受付背面壁



兵庫県の地図の型枠で作られた玄関ホール天井



屋上のEVスペースは子供に見せるようにシースルーとなっている。



1Fから2Fへの階段手摺は、71φの鉄筋を加工したものの。



屋上の目隠しルーバーは、下から見えないように逆さまに付けられている。

(報告 研修担当 西嶋)